

基本方針意味合い 施策の柱 提示内容の変更

第10回審議会で提示した内容（令和5年8月29日）	
基本方針意味合い	<ul style="list-style-type: none"> ● 第9期計画では、コロナ禍により希薄化した地域とのつながりを再構築し、さらに強化します。 →p11 施策の柱ハ ● 地域共生社会の実現に向け、住み慣れた地域で、高齢者一人ひとりが健康で、生きがいを持ちながら、人と人、人と地域がつながり、地域でお互いに見守り・支え合い、社会参加するなど、市民が自助や互助に取り組める環境をさらに整えることで、誰もが社会とつながり安心して暮らすことができるまちの実現をめざします。 ● 将来にわたり持続可能な介護保険制度の礎を築きます。 →p14 施策の柱Vハ
施策の柱	<ul style="list-style-type: none"> I 生涯にわたる健康づくりと高齢者の社会参加の促進 II 認知症にやさしいまちづくりの推進 III 地域で支え合う環境の整備 IV 高齢者が安心して暮らせる環境の整備 V 持続可能な介護保険制度の運営



第11回審議会で提示する内容（令和5年10月3日）（案）	
基本方針意味合い	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>地域共生社会の実現に向けて、住み慣れた地域で社会参加することで、健康を保ち、いきいきと暮らすことができるよう支援します。また、人と人、人と地域がつながり、お互いに見守り合い、支え合うことで地域包括ケアシステムの一層の推進を図ります。</u> ○ <u>いわゆる団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年を見据え、健康で安心して幸福感を持ちながら暮らし続けられるよう、well-beingのまちづくりを目指します。</u> <p>※well-beingは、「肉体的にも、精神的にも、社会的にもすべてが満たされた状態であること（持続的な幸せ）」を意味します。川越市では、ここ数年の間、医療や介護など多くの関係機関が集まり、規範的統合（ビジョンなど考え方を共有すること）を図るためのキーワードとして、well-beingを使ってきた経緯があることから、この言葉を基本方針の意味合いに含めたいと考えます。</p>
施策の柱	<ul style="list-style-type: none"> I <u>生涯にわたる健幸づくりの推進</u> II 認知症にやさしいまちづくりの推進 III <u>支え合いの地域づくりの推進</u> IV <u>安心して暮らせる環境づくりの推進</u> V <u>必要な支援が届く仕組みづくりの推進</u> <p>※健幸は、身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送ることを意味する言葉（造語）です。近年、「健幸社会」「健幸都市」づくりに向けて活動をしている自治体もあります。</p>